

意識改革から始める デジタル・ガバメントへの挑戦！



令和元年10月10日 福島市長 木幡 浩

復興 そして新ステージへ



人口(推計 R1.8.1現在)	287,004人
面積	767.72km ²
名物等	花見山、果樹、温泉
トピックス	東京オリンピック・パラリンピック、朝ドラ「エール」



平成27年12月、全庁にタブレット型端末を導入したものの…
…単なるパソコン

平成29年12月～

ICTを利用する意識改革
ICTを活用した業務改革

- ①ペーパーレス会議（庁議から実施、上からの改革）
 - ②一人一改善運動（現場からの改革、
職員一人ひとりの意識改革）
- ペーパーレス大作戦（半年で7.3%削減）

マイナンバーカード「カンタン申請」



平成29年12月より開始

来庁する

職員が写真撮影

職員が申請手続きの補助

約1か月後、自宅で
カード受け取り！

約10分

短時間、写真不要、職員が目の前でサポートするので、市民の皆様から好評

マイナンバーカード「出張カンタン申請」



出張カンタン申請申込み



職員が事業所等へ出張



職員が写真撮影、
申請手続きの補助

約10分



約1か月後、
自宅でカード受け取り！

短時間、写真不要、仕事の合間に
市職員が出向いてきてくれるので、
市民の皆さまから好評

マイナンバーカード 「らくらく窓口証明書交付サービス」



令和元年8月より開始

来庁する



タッチパネルで申請



受付票の発行



手数料を支払い、
各種証明書の受け取り

職員のサポートを受けながら、
コンビニ端末と同じ操作で証明書の
取得が可能

「マイナンバーカード利用の普及・拡大」



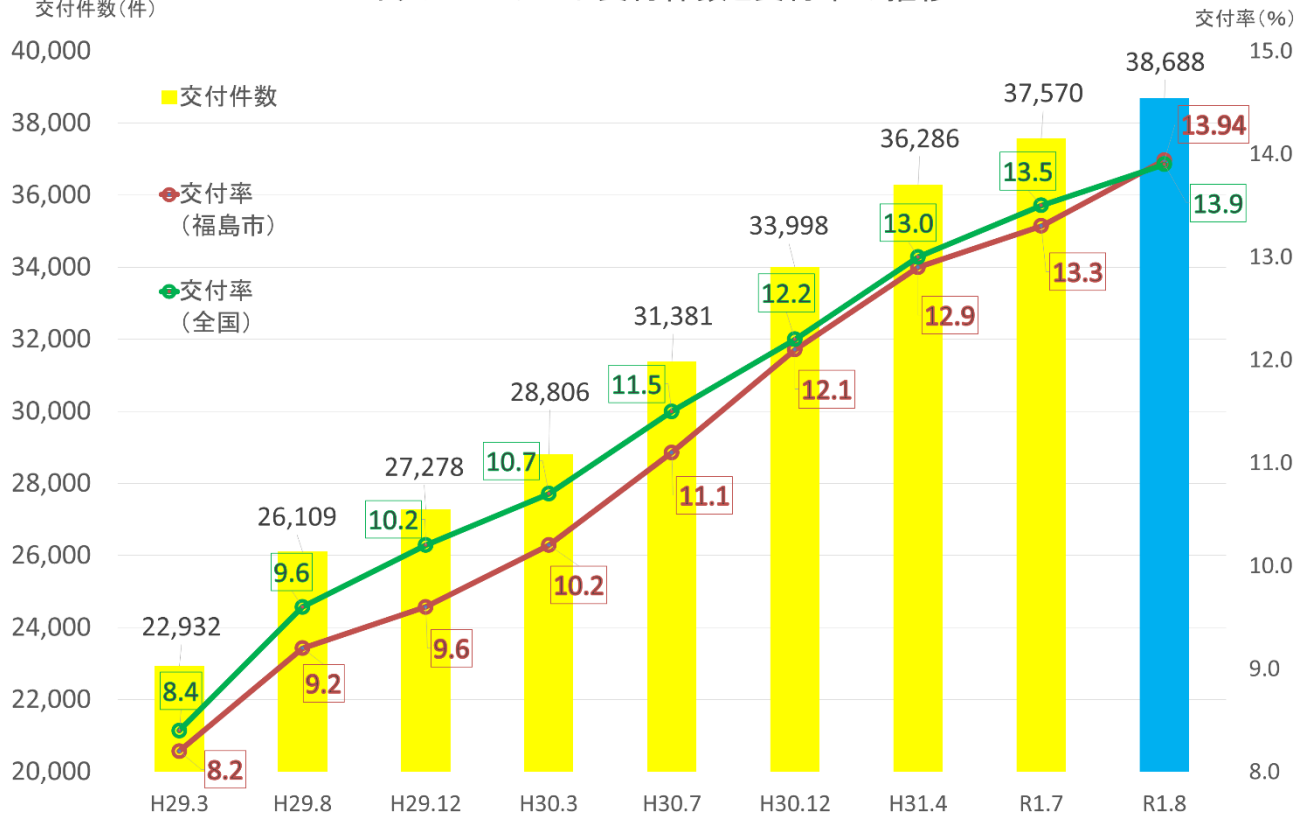
コンビニ交付の利用の仕方が分かりづらい、
端末の操作に不安があるとの声を受け、

地区ごとにコンビニの実機を使用し、
**コンビニ交付サービス利用講習
会を開催**

これにより、コンビニ交付の**利用拡充**と、
証明書発行業務の軽減による**業務改善**

マイナンバーカードの普及状況

マイナンバーカード交付件数と交付率の推移



マイナンバー取得
キャンペーンの効果
により

伸び悩んでいた**交付率**
が**上昇**、
今年8月には、交付率が
全国平均を超える

直近1年間では、
申請の約半数が
カンタン申請

H29.12 カンタン申請、出張カンタン申請開始

今年度の目標

交付率16%

(R1.8.31現在13.94%)

「マイナンバーカード活用の検討」

マイナンバーカードの更なる普及には、マイナンバーカードを利用した新たなサービスが必要。

本年度「福島市スマートシティ勉強会」を開催



産・学・官（民間事業者・大学・福島市）でマイナンバーカードの利活用や、様々なICT活用を検討

<新たに導入>

1 AIを活用した保育所入所選考

AI導入と併せて、情報システムの更新を行い、事務全体を見直し

2 モバイルワーク

市長用務でモバイルワークを導入

3 議会(常任委員会等)でのタブレット持ち込み

委員会等に職員がタブレット端末を持ち込み、紙資料を削減

4 答弁検討のペーパーレス化

職員がシステムを開発し、質問取りから答弁検討までペーパーレス化を推進 ⇒



答弁データベース		管理メニュー
(第1ボタン)	質問予定者	
(第2ボタン)	質問予定者・報告者	
(第3ボタン)	質問通告者	
(第4ボタン)	質問入力【質問要旨作成】	
(第5ボタン)	副市長選定会 確認区分(表示)	
(第6ボタン)	質問要旨(表示)→質問要旨印刷	
(第7ボタン)	質問要旨(表示)→答弁【作成】→答弁書印刷	
(第8ボタン)	市長検討会 質問要旨・答弁→抽出質問要旨印刷	
(第9ボタン)	過去の質問要旨と答弁	
(第10ボタン)	議員名簿	

<実証実験の実施>

1 RPA導入

2課3業務に導入し、その効果を検証

2 AIスピーカーによる施設案内

AIスピーカーの行政分野での活用可能性を検証